

松江市史 通史編5 近現代

目次

口絵

発刊にあたって

目次

凡例

概観

近現代という時代／松江市域の地域区分と「地域格差」／政府の地方統轄の仕組みと市町村／本巻の時期区分と構成

第一章 近代松江市域のはじまり

この時期の概観

12

1

16

2

第一節	明治維新後の町・村・浦の足どり	14
一	廃藩置県から一八八四年戸長管轄区域の拡大まで	14
	戸籍法の制定と区の設置／大区の廃止と地方行政組織の形成／区制下の町村―町村浦の分合・改称／区制下の町村―区会所およびその管轄／郡区町村編制法下の町村浦／一八八四年の改正／宍道町の例／一八八九年「市制及町村制」施行に向けて	
二	松江地域の自由民権運動	31
	谷清瀨の民権論／「松江新聞」の国会開設論／「松江新聞」の政体論・政治運用論／若山茂雄の民権論と活動	
三	松江出身の民権家・高橋基一の生涯とその立憲主義論	40
	松江出身の民権家と高橋基一／高橋基一の活動分野／高橋基一の立憲主義論	
第二節	地租改正から殖産興業へ	49
一	地租改正の実施過程とその担い手	49
	壬申地券から地租改正へ／地租改正の趣旨と基本方針／改正事業の実務担当／改正事業における測量調査／測量調査の諸問題／収穫量調査と地価算出／山林原野の改正／改正結果をめぐって	
二	老農と農事改良	61
	全国農談会／島根県の勸農政策と農談会／農事巡回教師船津伝次平の来県／老農林遠里の農事巡回／勸農社実業教師の活動	
三	漁業場区と水産業振興	70
	島根県の「漁業場区」／統一された漁業操藻税／「出雲石見魚漁図解」／第一回水産博覧会と水産巡回教師指導／漁業組合準則／「水産事項特別調査」と「秋鹿村水産上調査書」	

四	殖産興業……………	79
	殖産興業政策の展開／藩專売制の廃止／島根県の主要産業における勸業政策／勸業政策と士族授産／企業勃興の動き／勸業組織の形成	
第三節	暮らしの中の伝統と開化……………	90
一	風俗の矯正、徴兵令と住宅建築の変化……………	90
	文明開化と風俗矯正／「違式註違条例」の布達／散髪をめぐる攻防／「血税」への反発と説得／明治初年の住宅とその変化	
二	神仏分離、神社神道と教派神道……………	99
	神仏分離／神社の列格と氏子域／教派神道の成立／宗派別寺院数／神社の整理	
第四節	私塾と私立学校……………	111
一	私塾から私立学校へ……………	111
	明治初年の松江地域の私塾／内村友輔の相長舎と澤野修輔の培塾／三州学校・松江義塾・進取学館と修道館	
二	渡部寛一郎と私立中学修道館……………	116
	渡部寛一郎と修道館／私立中学修道館の生徒の構成／修道館の教員と学校経営	
三	松操高等女学校と戦前・戦後の私立学校……………	125
	松操高等女学校／私立高校と私立中学校	
第五節	松江の外の松江……………	129
一	同郷会と同郷人雑誌……………	129
	東京における同郷会の結成と同郷人雑誌の発行／島根県友会と島根県協会の結成／『島根評論』の発行／同郷人雑誌の「裏日本」脱却論	

第二章 近代松江市域のあゆみ

二 東京出雲学生会・島根県協会と在京の松江出身者	139
東京出雲学生会の結成と活動／同郷会から見た松江市域の町村／雑賀町士族の動向	
この時期の概観	148
第一節 松江市と町・村の誕生と発展	151
一 一八八八年、島根・秋鹿・意宇三郡の町村合併	151
町村合併標準／島根県での町村合併調査／島根郡内の町村合併／秋鹿郡内の町村合併／意宇郡内の町村合併／単独で町村制を施行した村／島根・秋鹿・意宇三郡町村のその後	
二 市制施行と松江市の誕生	170
町村合併と市域の確定／「市制」施行と松江市の仕組み／第一回松江市会議員選挙	
三 初代松江市長福岡世徳市政の展開	176
戦前の松江市長と初代市長福岡世徳／松江市勢の衰退と馬潟浚渫開港策／松江振興策と福岡市長の活動／福岡市長の松江振興策／松江振興策の達成と福岡市長の陳情の特徴	
四 高橋義比市政・高橋節雄市政の展開	186
二人の高橋市長とその時代／上水道敷設事業の開始と竣工（高橋義比市政）／港湾の修築と大橋川の浚渫（高橋節雄市政）／工業都市か遊覧都市か（高橋節雄市政）	
五 松江市における水道敷設	194
松江城下町の水事情／伝染病の蔓延と上水道敷設の要望／関屋忠正とW・K・バルトンの調査／全国の都市視察と事業実施に向けて／事業の拡大に向けて	

六	克堂会と憲克俱樂部	206
	日露戦争後—一九二〇年代の政治動向と松江市域／松江市域における政党の勢力関係／一九二〇年の衆議院議員選挙と克堂会の結成／克堂会の目的・役割と憲克俱樂部	
七	市長候補選任をめぐる紛糾と松江市の地域政治構造	214
	一九二二年の市会議長選挙と市長候補選挙／一九二五年の市長候補選任をめぐる紛糾／市会紛糾の要因／松江市の都市構造と地域政治構造／普通選挙制による一九二九年の松江市会議員選挙／普通選挙制の実施と松江市の地域政治構造／高橋節雄市長から石倉俊寛市長へ	
第二節 湖海と陸の産業と近代化		
一	農業問題と農業団体	234
	農業の商品生産と農家数の減少／米の単収・品質向上への対応／松江市近郊が起源の養蚕／高率小作料と小作慣行／農業技術普及組織としての農会／農村経済支援組織の産業組合	
二	森林・林業と製炭業	245
	松江市・八束郡の森林・林業／八束郡の公有林野／林業補助／林業団体の設立と生産活動／八束郡の山村農家と製炭業／島根木炭の生産量・生産額の推移／八束郡農家の生業と林産物生産／松江市・八束郡の木炭生産と消費	
三	明治漁業法と漁業組合	260
	外海漁業の動向／明治漁業法の制定と漁業組合の活動／片江機船底曳船団の登場と機船底曳網漁業の発展／県の水産業奨励と県外出漁／消費地と産地の魚市場	
四	松江商業会議所と商工業	269
	商工業の概観／商工業の近代化／伝統工芸の改良／松江商業会議所と松江経済会／商店街の動向	
五	水運から鉄道へ	281
	三大道路の改修／海運の発展と阪鶴丸／湖上交通の展開と合同汽船／鉄道敷設運動の高まり／山陰線の開通／軽便鉄道の発達／海運の衰退と松江築港	

第三節	市民と村民の暮らしと活動	293
一	松江の「静かな」米騒動	293
	騒動の全国的展開と島根県／中間層の生活難問題／村役場文書から分かること／再燃する生活難と公設市場	
二	社会運動の高揚	302
	松江地域の社会運動の概要／松江市民大会の系譜／戸谷一雄・福田理三郎・山根積／福田理三郎の松江市会議員当選	
三	地域社会のデモクラシーと平等	313
	『川津村青年団沿革史』の編纂／地方改良運動と「スポーツ」の時代／デモクラシーの時代の川津村青年団／「文芸復興時代」の川津村青年団／デモクラシーから平等へ／平等を獲得した主体的要因／平等を実現した背景	
四	社会事業の展開	327
	慈善事業の展開／松江市における社会事業／方面委員制度の発足／福田平治の愛隣社事業／救護法の制定／松江社会事業調査会による報告書	
五	宝満山と鉱害問題	337
	宝満山銅鉱山の開業／鉱害問題の発生／施設拡張反対の声／労働者家族の生活世界／公害問題の再燃／文化財保存問題の浮上	
第四節	学都松江と地域の文化	344
一	官立松江高等学校の開設と地域	344
	官立松江高等学校の設置／高等教育機関設置要求の背景／高等教育機関誘致運動の構成／松江高等学校の開設と学生の構成／戦争の開始と松江高等学校／島根大学の開学	

二	漢詩文化と政党政治―若槻礼次郎・渡部寛一郎と松江……………	356
	剪湊吟社の創立／剪湊吟社と山陰の漢詩文化／若槻礼次郎と渡部寛一郎／若槻・渡部と漢詩	
三	近代松江における松平治郷（不昧）の顕彰……………	363
	松江の茶文化と不昧／旧藩顕彰事業と不昧／皇太子の行啓と不昧公好みの菓子復活／不昧公百年忌／地誌に見る不昧	
四	ラフカディオ・ハーンと松江……………	376
	ラフカディオ・ハーンの来松／離松後のラフカディオ・ハーン／小泉八雲（ハーン）の顕彰―根岸磐井と八雲会／小泉八雲の顕彰―小泉八雲記念館の建設	
五	桑原羊次郎とその美術工芸研究……………	388
	松江における桑原家／東京進学と帰郷／私立松江法律学校の設立から米国留学へ／地域経済への寄与と議員就任／装剣金工研究の日覚め／肉筆浮世絵コレクションの展開／「欧米美術行脚」の時代／山陰盲啞保護会と八雲会／郷土美術の顕彰と紹介／近代松江における桑原羊次郎の活動の意義	
第五節	県都・軍都と「模範村」……………	399
一	第一次桂太郎内閣の府県廃合計画と県都松江の市長の対応……………	399
	一九〇三年の「府県廢置法律案」と「松江県」設置計画／廢県反対運動の全国的展開／「山陰新聞」の論評と報道／福岡世徳市長の上京活動／府県廢合計画と県都松江の行方	
二	歩兵第六十三聯隊誘致と陸軍記念日祝賀行事……………	408
	都市間競争の中の聯隊誘致／熱狂的歓迎の背後にあるもの／経済振興への期待が招いたもの／軍事力は何のために／陸軍記念日祝賀行事／歩兵聯隊の誘致がもたらしたもの	
三	日露戦争後の地方改良運動と「模範村」……………	418
	八束郡青年会の各府県視察修学旅行／地方改良運動と「模範村」／松江市域の「模範村」／熊野村の外勤書記と岩坂村自治信愛会／村の重層的構成と神社／一九二〇年代の「模範村」／八束郡村長会議／「小村合併」方針への抵抗	

第三章 戦時・戦後の松江市域

この時期の概観

第一節 松江市と町・村の戦時と戦後

一 石倉市政期の都市基盤整備事業と観光

石倉俊寛市長の将来構想／松江の遊覧都市化に向けて／松江観光協会の宣伝活動／博覧会開催ブームの中で／生活・文化水準向上のために／松江市公会堂の建設

439

二 松江市の都市計画

都市計画準備調査／都市計画区域の決定／都市計画街路の策定と事業化／湖岸道路／松江における耕地整理・土地区画整理／松東の土地区画整理事業／戦後への系譜―生産再建整備都市計画街路事業

448

三 松江市域における総力戦

日中戦争の勃発と言動統制／国家総動員とその余波／新体制運動に因えて／構築される翼賛体制／本土決戦に備えて／建物強制疎開／米軍機による空襲

460

四 敗戦・無条件降伏と松江騒擾事件

敗戦と島根県の対応／松江騒擾事件の経過／松江騒擾事件の構造と背景

469

第二節 昭和恐慌・戦時経済から戦後経済改革へ

一 昭和恐慌と地域経済

昭和農村恐慌／農山漁村経済更生運動／有畜農業の奨励／農業共済事業の萌芽

476

二 戦時下の統制経済

戦時統制経済体制／食糧増産とその対策／企業・経済団体の統合／農業・漁業団体の統合

485

三	戦後の経済改革	491
	敗戦後直後の行政機構／地元紙社説にみる経済民主化の論調／戦後直後の市の産業構造／一九五一年の二つの商工調査	
四	戦後の農地改革と農協の誕生	499
	第一次農地改革と第二次農地改革／農地改革の実施体制／農地改革の展開と成果／農業協同組合の設立／農業協同組合の経営不振と再建整備	
第三節	戦時の宗教・社会と戦後の暮らし・文化	509
一	第二次大本事件	509
	第二次大本事件と松江／松江における大本布教の始まり／第一次大本事件後の国際活動／満州事変後の大本の活動の拡大／第二次大本事件と松江	
二	戦時厚生事業の展開	519
	戦時厚生事業の展開／愛育村に指定された岩坂村／社会保健婦養成所の開設／保健婦の活動と意識	
三	市民の暮らしと戦争被害	530
	ヤミ市のある暮らし／治安の悪化／住宅の再建／簡易住宅・転用住宅での暮らし／占領軍による住宅の接収／戦争未亡人・戦災孤児・海外引揚者／開拓地への入植／松江赤十字病院社会事業部の活動／松江市民病院の開設	
四	地域文化運動の高揚	548
	「疎開文化人」と文学／松江美術工芸研究所の意義／戦後松江の演劇運動／「地方文化」をめぐる／青年団運動の高揚	
第四節	学校と地域の戦争	563
一	学徒勤労働員と学童疎開の受け入れ	563

二 神国大博覧会と支那事変博覧会	570
「神国大博覧会」開催計画の発表／神国博開催計画の背景／神国博開催計画の変容と中止／支那事変博覧会の開催／動員・誘導される見学者	
学徒動員の始まり／戦時下の文教政策と皇国民練成／戦地へ工場へ／決戦体制下の教育と動員／大阪からの学童疎開／勤労学徒の思い(1)―不安とあきらめ―／勤労学徒の思い(2)―不安と焦燥感―	
第五節 出征兵士と銃後の市民	578
一 日清・日露戦争と市民	578
日清戦争と郷土出身兵／日清戦時下の銃後／日清戦争出征兵士からの手紙／日露戦争と郷土出身兵／日露戦時下の銃後／日露戦争出征兵士からの手紙／徴兵逃れ祈願	
二 満州事変～アジア・太平洋戦争と市民	584
満州事変以降の郷土部隊／歩兵第六十三聯隊以外の郷土部隊／逼迫する消費生活／求められた金属供出／防空訓練と竹やり訓練／松根油採取のための動員／満州事変・日中戦争下の軍事郵便／出征兵士はどう迎えられたか／戦死者はどう迎えられたか	
第四章 現代松江市域のなりたち	
この時期の概観	594
第一節 現代松江市の誕生	597
一 戦後の市町村合併と一市八町村の成立	597
戦前・戦後の市町村合併と現代松江市の成立／一九五〇年代の市町村合併の背景／島根県・松江市・各町村の合併計画／一九五〇年代の松江市域の合併計画と町村の枠組み	

二	二十一世紀の市町村合併と現代松江市の誕生	607
	松江市と八束郡七町村の合併／東出雲町の松江市編入と現代松江市の誕生	
第二節	地域産業の再編	612
一	農業の近代化と農業構造改善事業	612
	新農山漁村の建設／農業基本法の制定と農業構造改善事業／第一次農業構造改善事業／第二次農業構造改善事業	
二	水産業の民主化と再編	622
	島根県漁業の長期的動向／漁業制度改革と漁業協同組合の再発足／復興期の島根県水産業／干拓・淡水化前の中海・宍道湖漁業の実態／沿岸漁業等構造改善事業の計画と実施／水産業改良普及活動と県漁連広報誌『明るい漁村』	
三	商工業の変貌	633
	高度経済成長初期の松江市商業／一九六〇年代以降の小売業／流通革命と商業近代化／工業の変貌と近代化／松江商工会議所と中小企業等協同組合	
四	平成の広域合併前後の都市部と農漁村部の就業環境	643
	産業立地／農業の就業環境／漁業の就業環境／就業の場としての松江市／観光産業の展開	
第三節	暮らしの変化と地域の運動	655
一	朝鮮戦争・再軍備と地域の運動	655
	「対岸の火災視とはなり得ず」／危険な漂着物／美保基地拡張反対運動	
二	新生活運動と地域の民主化	664
	新生活運動の始まり／八雲村の新生活運動／農村女子青年の「農村ざらい」／因習打破と世代間関係／批判やとまじい／公民館結婚式	

三	高度成長と暮らし・教育・文化	674
	都市へ……／集団就職／農村民の悩み／都市部の勤労青年対策／松江市立青年高等学校の発足／労演連 動の展開／松江勤労者演劇協議会から松江市民劇場へ	
四	地域保健衛生活動の展開	688
	「健康な町」／乳児の保育と母の健康／総合保健計画の立案／保健文化賞の受賞	
第四節	戦後の教育・文化の展開	700
一	公民館活動と社会教育・「地域づくり」	700
	公民館の設置／公民館活動の広がり／「自主運営方式」の公民館へ／生馬公民館の取り組み／公民館活 動と地域福祉	
二	民藝運動の展開と継承	713
	柳宗悦と太田直行／島根県の民藝運動の足どり／布志名焼と松木家の人々／湯町窯と福岡家の人々／袖 師窯と尾野家の人々／出雲民藝紙と安部家の人々／松江美術工藝研究所の人々／民藝運動の継承と今日 の展開／手仕事を松江の産業振興の核に	
三	国際文化観光都市の指定と観光振興	725
	戦後復興期における「観光関係特別都市法」の制定／「松江国際文化観光都市建設法」と小泉八雲／住 民投票と市民の意識／戦後松江における大規模行事／施設の充実と観光客の増加	
四	文化財保護行政と埋蔵文化財の保存	735
	松江市域の考古学の始まりと戦後の遺跡調査・研究の展開／開発事業と文化財保護行政／「八雲立つ風土 記の丘」の設置／島根大学の考古学研究・人材育成体制／増え続ける大規模開発と発掘調査／島根県・ 松江市による調査の推進と調査体制の整備／八束郡各町村の専門職員採用と資料館の開館／埋蔵文化財 調査報告書・研究論文の刊行／記録に残る遺跡の保存運動／保存運動の実際（1）宍道・女夫岩遺跡／保 存運動の実際（2）東出雲町・寺床遺跡／保存運動の実際（3）乃木・田和山遺跡	

第五節 都市と農漁村の変貌……………748

一 旧松江城下町の掘割と水路の変遷―六つの橋が結ぶ橋南と橋北……………748

掘割と水路の変遷／市街地・埋立地の拡大と橋の整備

二 郊外における住宅団地の造成……………758

戦後の住宅難問題／島根県住宅供給公社の取り組み／公設アパート団地と自治会／民間活力による団地造成と自治会(一)／民間活力による団地造成と自治会(二)／団地造成と埋蔵文化財／二十世紀末の住宅団地開発

三 魚と花の行商……………768

恵曇の「魚商人」／カゴイナイさんと船／魚商人専用バスの登場／大根島と花の栽培／クサバナを売りに行く／牡丹苗を背負って全国へ

終章 私たちの松江―これまでとこれから

はじめに……………784

一 松江市域の人口―明治から現代まで……………788

明治初期の人口減少その後／戦前の人口増加の要因／戦後の人口推移／戦後の自然増加／戦後の社会増加／松江市人口の占める位置

二 水害と火災……………800

水害が頻発する地理的条件／一八九三年の大洪水／一九七二年の大洪水／斐伊川・神戸川治水事業／昭和期の大火災／消防の取り組みの変遷

三 中国電力島根原子力発電所……………807

中国電力島根原子力発電所の現況／中電島根原発設置の経緯／立地調査をめぐる島根県議会の議論／鹿

島町への原発電設置申入れとその波紋／鹿島町内の対応と原発電設置反対運動／2号機・3号機の増設と島根原子力発電所反対運動／島根原発電設置決定過程が示すもの	
四 六道湖・中海の干拓淡水化事業	823
五〇年かかった干拓淡水化事業／戦後日本の干拓事業／始まりは六道湖淡水化論／ヤンセン講演で大干拓を確信（第一期）／農業開発か工業開発か／島根・鳥取の意見対立と治水問題／水面下に広大な圃場が完成（第二期）／進む工事と淡水化への疑問・反対／水門閉め切りは水質悪化―専門家からの警告（第三期）／高揚する住民運動／国際生態学シンポジウムと島根大汽水域研究センター／島根県による再度の干陸推進（第四期）／深化する住民運動／六道湖・中海の干拓淡水化事業の事後処理（第五期）／干拓淡水化事業の残された課題	
おわりに――松江地域の近現代史の特徴と課題	848
松江地域の近現代史の特徴／住民自治をめぐる課題／松江地域の人々の自治をめぐる歴史的経験／地域の歴史的歩みの上に立って	
参考文献一覧	858
松江市史編纂関係者名簿	
執筆分担	
史料提供者・協力者一覧	
年表	15
索引	1